

リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業 について

令和5年6月

経済産業政策局 産業人材課

本事業の背景

「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」（令和4年10月28日閣議決定）（抄）

第1章 経済の現状認識と経済対策の基本的考え方

（構造的な賃上げ）

目下の物価上昇に対する最大の処方箋は、物価上昇を十分にカバーする継続的な賃上げを実現することである。特に労働者の約7割を占める中小企業に賃上げの流れを波及させていくことが不可欠であり、厳しい状況にあっても賃上げに踏み出す中小企業への支援策を強化するとともに、価格転嫁を強力に推進していく。そして、賃上げの流れを継続・拡大していくため、賃上げが高いスキルの人材を惹きつけ、企業の生産性を向上させ、それが更なる賃上げを生むという「構造的な賃上げ」を実現する。物価高が進み、賃上げが喫緊の課題となっている今こそ、賃上げ、労働移動の円滑化、人への投資という3つの課題の一体的改革を進めていく。

第2章 経済再生に向けた具体的施策

Ⅲ 「新しい資本主義」の加速

1. 「人への投資」の抜本強化と成長分野への労働移動： 構造的賃上げに向けた一体改革

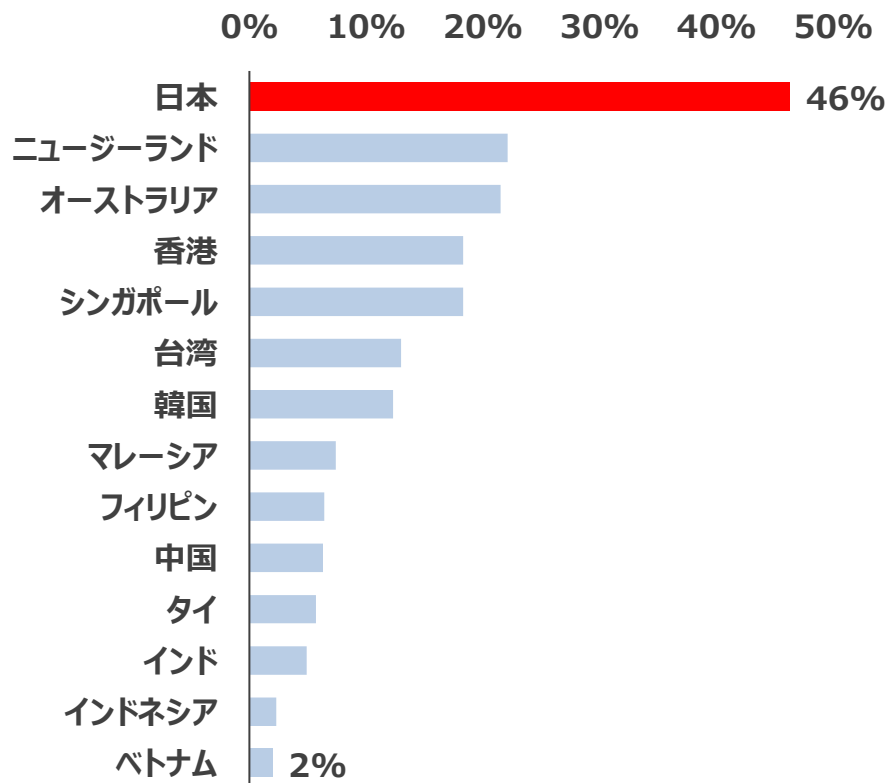
デジタル分野等の新たなスキルの獲得と成長分野への円滑な労働移動を同時に進める観点から、3年間に4,000億円規模で実施している「人への投資」の施策パッケージを5年間で1兆円へ拡充する。

具体的には、「企業間・産業間の労働移動の円滑化」に重点を置いて、訓練後に非正規雇用を正規雇用へ転換する企業や、賃上げを伴う転職・労働移動の実現に向け、より高い賃金で新たに人を雇い入れる企業への支援の拡充を行う。また、在職者のキャリアアップのための転職支援として、民間専門家に相談して、リスキリング・転職までを一気通貫で支援する制度を新設する。さらに、地域金融機関等による地域企業への人材マッチング等に取り組むほか、副業を受け入れる企業への支援を新設する。

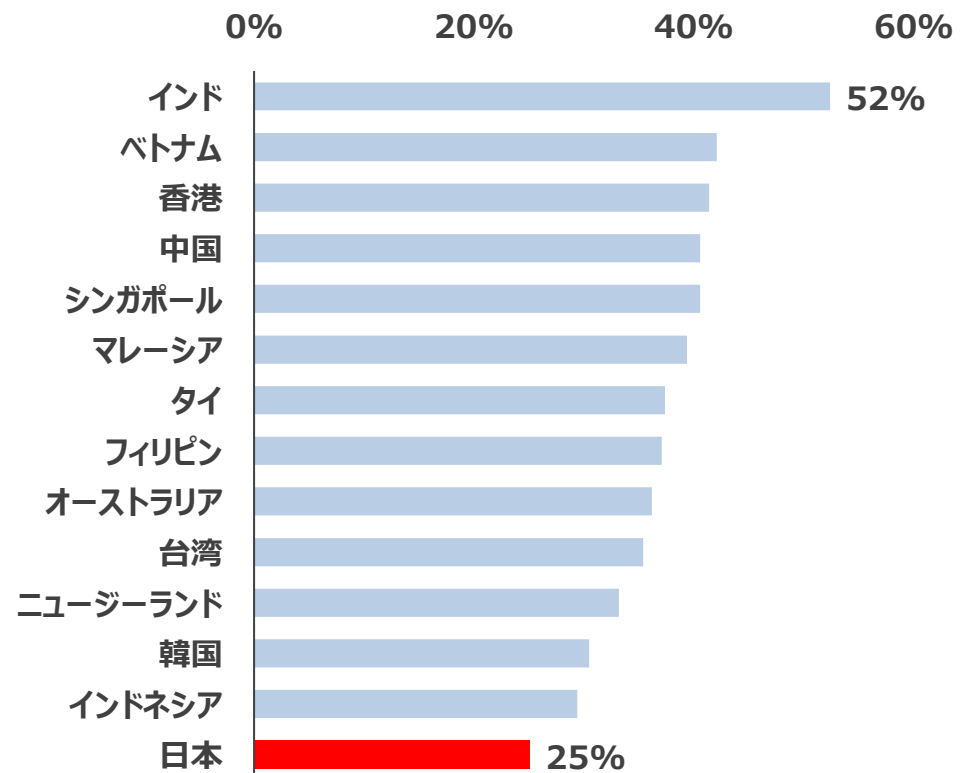
(参考) リスキング及び転職意向の国際比較

- 日本は他国と比べて、学び直しを行っていない人の割合が高い。
- また、他国と比べて、転職意向を持つ人の割合は低い。

社外学習・自己啓発を行っていない人の割合



転職意向のある人の割合



(注) 対象地域は、中国、韓国、台湾、香港、日本、タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、シンガポール、ベトナム、インド、オーストラリア、ニュージーランド（各国1,000サンプル）。調査対象は、20～69歳男女で、就業しており、対象国に3年以上在住している者。

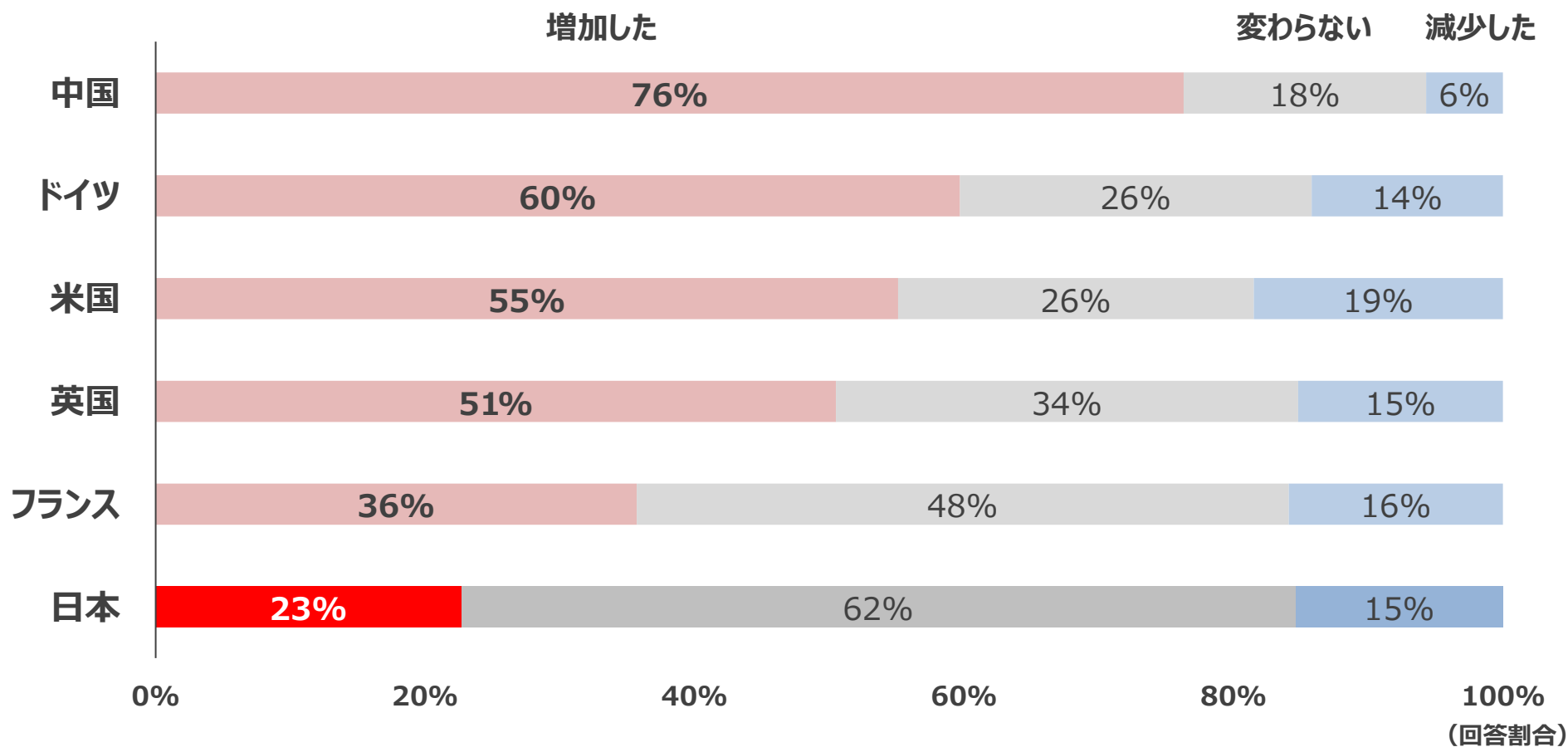
なお、日本は、別途実施した「働く1万人の就業・成長定点調査2019」から東京、大阪、愛知のデータを抽出して利用。

(出所) パーソル総合研究所「APAC就業実態・成長意識調査（2019年）」を基に経済産業省が作成。

(参考) 賃金上昇につながる転職の国際比較

- 日本は他国と比べて、転職後に賃金が増える割合が低い。

転職前後の賃金変化の国際比較

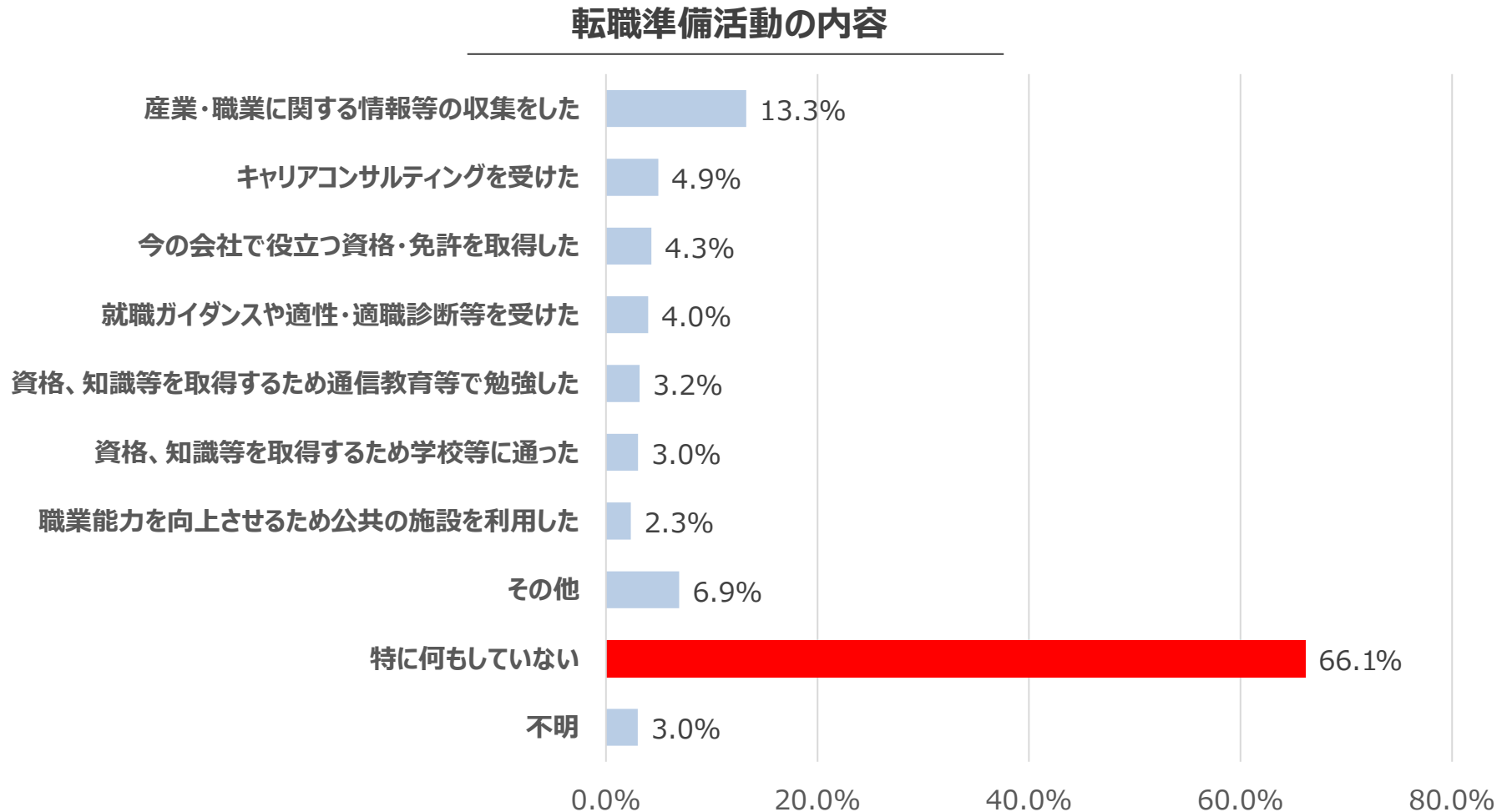


(注) 2014年に求職活動を行った者に対するアンケート調査。日本701人、米国750人、ドイツ726人、英国780人、フランス718人、中国2,386人が回答。

(出所) リクルートワークス研究所・BCG「求職トレンド調査2015」を基に経済産業省が作成。

(参考) 転職に向けた準備の内容

- 転職に向けて学び直しや訓練を行う人の割合はわずかであり、特に何もしない人が大半。



- 本事業では、補助事業者を通じて、在職者のキャリア相談、リスキリング、転職までを一体的に支援することで、企業間・産業間の労働移動の円滑化とリスキリングを一体的に促進。

補助対象となる事業

- 補助事業は、以下の①～④の全てを含む事業とする



転職

①キャリア相談対応

自らのキャリアについて相談し、これまでのキャリアの棚卸し、本支援を通じて目指すキャリアゴールの設定、スキルの棚卸し、リスキリング講座の検討等についての相談支援を実施

②リスキリング提供

キャリア相談対応等を踏まえ、リスキリング講座を提供

③転職支援

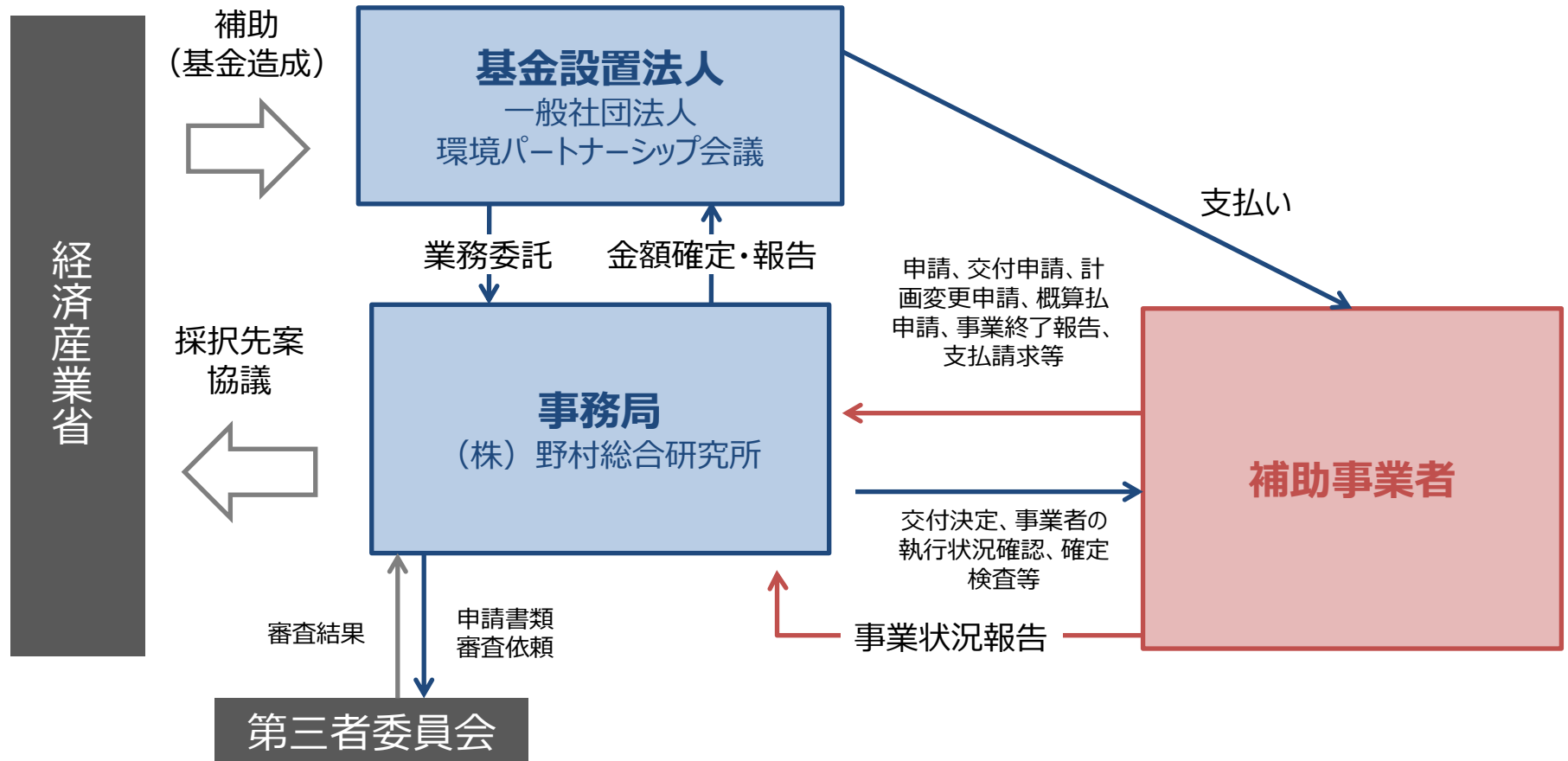
キャリア相談、リスキリング講座の受講等を踏まえて、転職に向けた伴走支援や職業紹介を実施

④フォローアップ

支援を受けた個人の転職後のフォローアップとして、転職後1年間の転職先での継続的な就業や転職に伴う賃金上昇の確認等を実施

本事業の執行スキーム

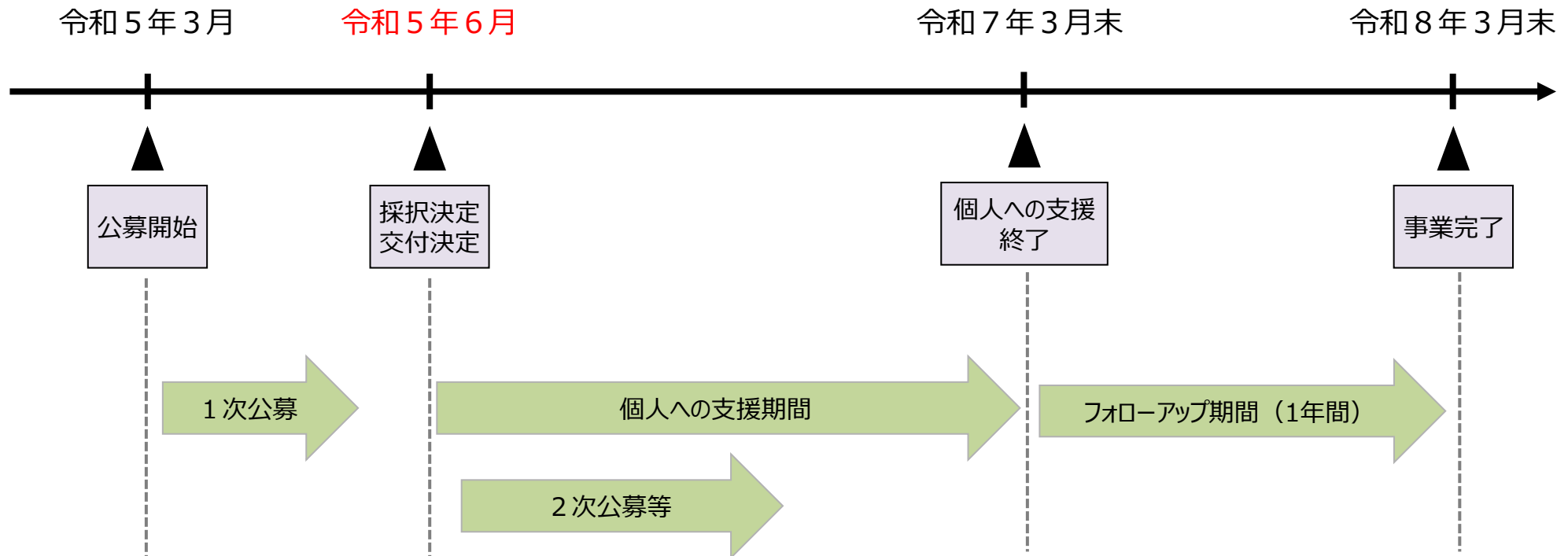
- 本事業では、個人に対するサービスを提供する事業者に対して補助金を交付することにより、リスクリングを通じて転職を行いたい個人に対する支援を実施。



本事業のスケジュール

令和5年6月20日更新

- 5月に1次公募を行い、第三者委員会による審査の上で51件の事業を採択。現在、7月までを締切として、2次公募を実施中。
- 補助事業者による個人への支援期間は、交付決定後から令和7年3月末までとし、令和8年3月末までの1年間は、支援した個人へのフォローアップのみを行う期間として設定。



本事業の効果検証

- 本事業を通じて支援を受ける個人について、以下の情報を収集することで、キャリア相談及びリスキリングを通じた転職が、収入の増加等のキャリアアップにつながるかを検証する予定。

支援を受けた個人から収集する情報

<属性情報>

- 年齢
- 性別
- 最終学歴
- 家族構成
- 保有資格、保有スキル

<支援内容>

- リスキリング講座の受講結果
- 受講したリスキリング講座の内容
- リスキリング講座の受講時間
- 面談回数
- 支援を実施した日付

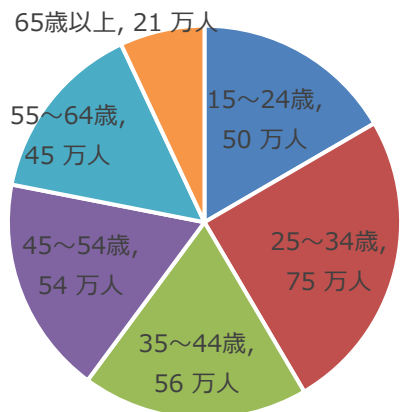
<転職前後の変化>

- 転職のきっかけ・動機
- 転職結果
- 雇用形態
- 業種・職種
- 勤務地域
- 勤務企業の規模
- 給与
- 労働時間

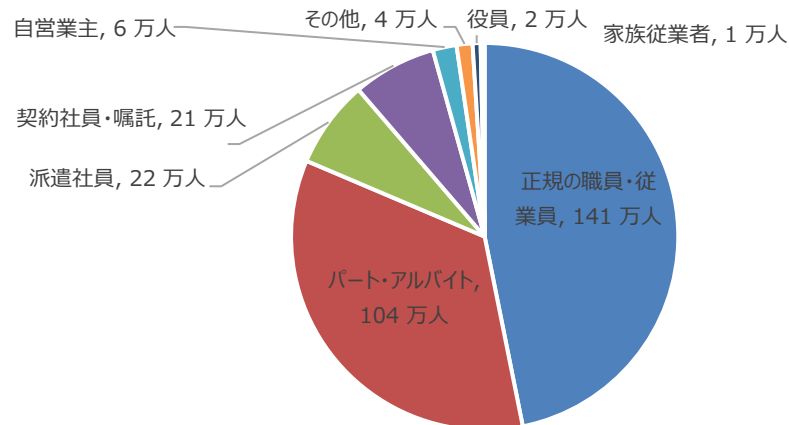
參考資料

(参考) 現在の転職者層

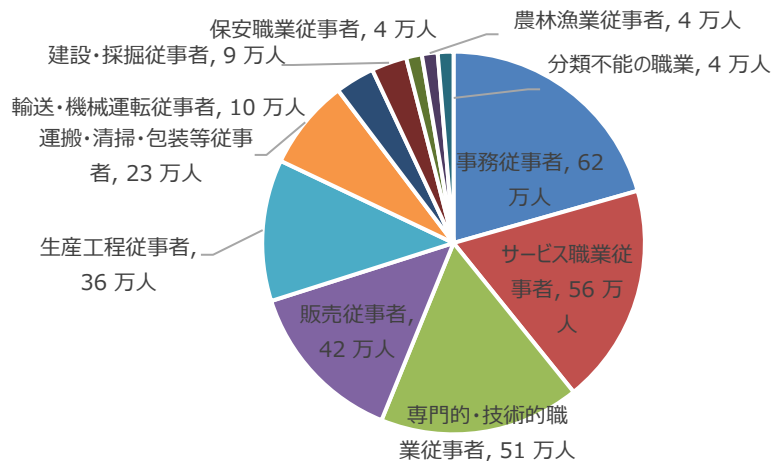
年齢別



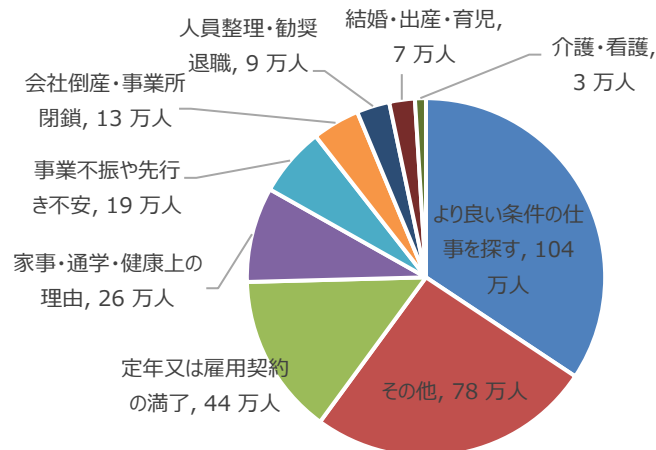
雇用区分別



職種別

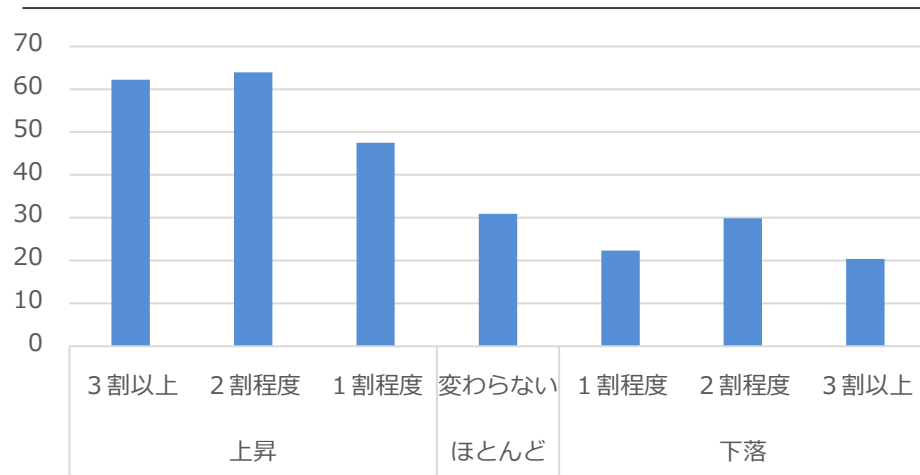


転職理由別

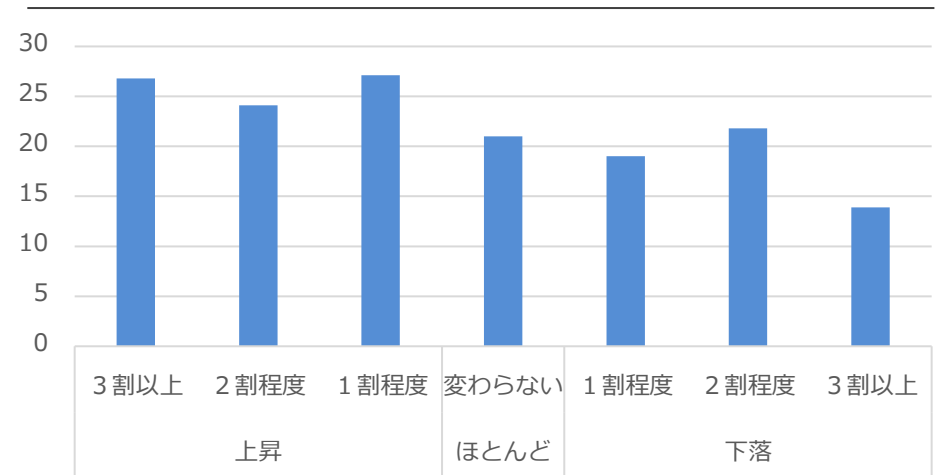


(参考) 転職の動機と転職前後の収入変化の分布の関係

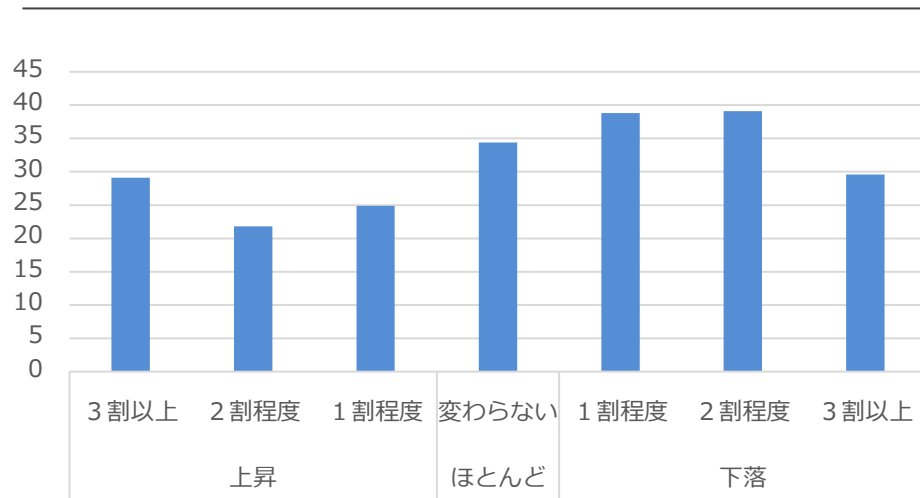
「給与水準を上げたい」



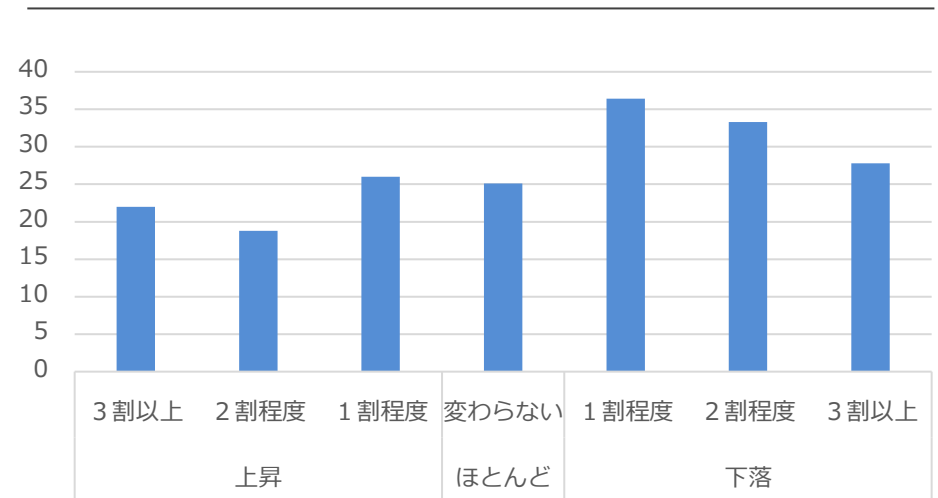
「キャリアの幅を広げたい」



「働き方（休日等）を変えたい」



「職場の人間関係を変えたい」



(注) 直近3年以内の転職者に対する調査。転職による収入変化の度合いごとに、複数回答で転職理由を質問したもの。
 (出所) 一般社団法人人材サービス産業協議会「ジョブチェンジ転職/採用実態調査」(2023年3月公表)を基に経済産業省が作成。

(参考) キャリアアップにつながるリスキングのイメージ

リスキング内容	転職先の業種・職種等
データベーススペシャリスト	ITコンサルティング (正規、マネージャー～シニアコンサルタント職)
オラクルマスター (ゴールド)	
証券外務員一種	証券 (正規、営業)
簿記検定2級	銀行 (正規、経理職)
基本情報技術者試験	IT (正規、開発)
フィナンシャルプランナー (2級)	保険 (正規、営業)
建設業経理士2級	建設業 (正規、経理)
ディープラーニングG検定	創業期ITベンチャー (正規、事務職)
ITパスポート	ITベンチャー (正規、商品企画)
MOSエキスパート	製造業 (正規、一般事務・営業)
日商PC検定3級	製造業 (正規、一般事務)
フォークリフト運転技能講習	物流 (正規)
PCスキル基礎 + ビジネスマナー	製造業 (非正規、製造事務)